

2024年4月号

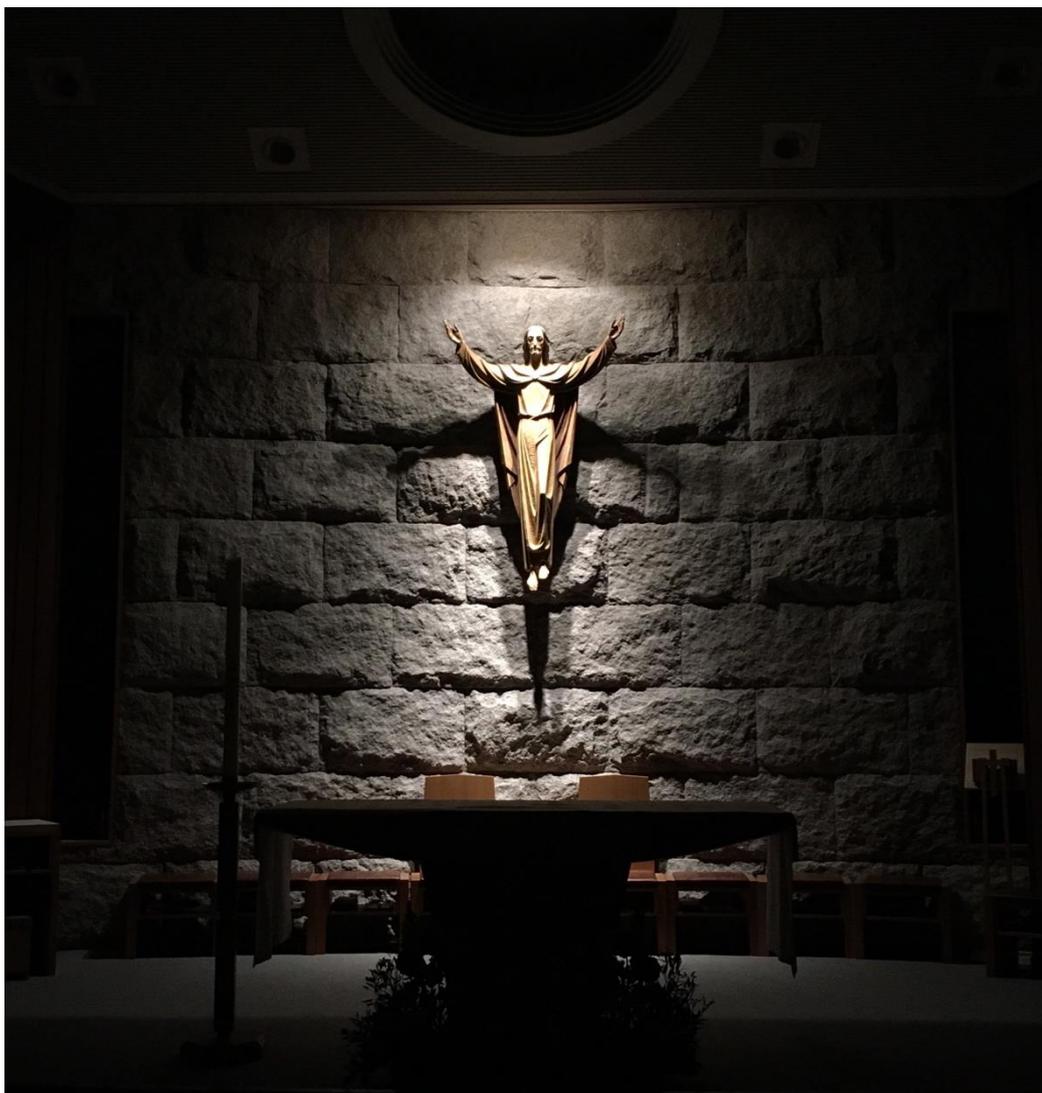
カトリック二俣川教会
教会だより

No.368

(2024年3月31日発行)



二十六聖人



カトリック二俣川教会聖堂内陣に掲げられた復活のキリスト像

巻頭言：復活の命

夕方になると、アリマタヤ出身の金持ちでヨセフという人が来た。この人もイエスの弟子であった。この人がピラトのところに行って、イエスの遺体を渡してくれるようにと願い出た。そこでピラトは、渡すようにと命じた。ヨセフはイエスの遺体を受け取ると、きれいな亜麻布に包み、岩に掘った自分の新しい墓の中に納め、墓の入り口には大きな石を転がしておいて立ち去った。マグダラのマリアともう一人のマリアとはそこに残り、墓の方を向いて座っていた。【マタイ 27、57～61】

復活されたイエス様の恵みと平和が、信者の皆さんに豊かに注がれますように。

十字架の道行の最後の黙想は、墓に葬られたイエス様のことです。その墓は、イエス様が亡くなられたところにある園の中にあっただけです。（ヨハネ 19、41）マタイの福音によると、その墓はアリマタヤ出身のヨセフのもので、彼は自分のための墓にイエス様を葬ったのです。イエス様の十字架のところに園があり、そこにヨセフの新しい墓があったでしょう。彼は、イエス様に自分の墓をささげたとも思われます。こうして、イエス様は冷たい岩の中に葬られたわけです。

夜、聖堂に座って祭壇を見つめると、復活されたイエス様の姿が見えます。穏やかな明かりがイエス様を照らします。その明かり



は、イエス様の後ろにある石の壁とは対照的です。その壁は、まるで、冷たい岩の墓のようです。時には、その重くて冷たい石に、イエス様が囲まれておられるように、時には、イエス様がその石の壁を背負っておられるようにも見えますね。頑なで愚かな人間を救うために亡くなられたイエス様は、今もわたしたちのためにそうなさっておられるのでしょうか。

でも、イエス様は自らそれを望まれたでしょう。ただ、わたしたちの悔い改めを待っておられるわけです。その慈しみは、悔い改めという十字架に、イエス様と共に自分を付ける人だけに与えられるもの。その憐れみは、石の墓のような自分の冷たい心に、イエス様と共に葬られる人だけに授けられるもの。きっと、イエス様はその人の心から復活されるでしょう。その時、イエス様はその人もご自分と共に復活させてくださるはずです。復活の命は、その人たちだけに施されるものです。

神様はアダムとエバのために、エデンという園を設けてくださいました。そこには、命の木と善悪の知識の木がありました。二人は、善悪の知識の木から実を取って食べ、罪を犯したでしょう。すると、神様は二人が命の木にまで手を伸ばせないように、二人を園から追い払われました。しかし、今は、イエス様の十字架の木に、わたしたちが手を伸ばすのを望んでおられます。十字架上で死に、岩に掘った冷たい墓に葬られ、三日目に復活されたイエス様の命を、取るに足りないわたしたちにも与えてくださるために。

主任司祭 ヤコブ 姜 真求

2024年3月教会委員会報告（開催日：3月10日）

【4月以降の教会委員】

3月教会委員会で決まった新委員は次の通りです。これら以外は信徒集会で報告した通りです。

副委員長：O. Y. さん → O. M. さん

広報担当：F. N. さん → O. Y. さん

建物管理担当：T. T. さん → N. K. さん

【検討事項】

1. 信徒意見

①「ミサ前に聖堂内で私語が多い。静かにお祈りするのが他教会では普通です。」（他教会信徒の投書）→私語を注意してまわるようなことはしませんが、ミサ前は聖堂内の静謐を守るようにしてください。

②「信徒会活動をアピールする場がない」（信徒集会意見）→10時ミサ後に信徒会活動を紹介する場を設ける予定です。

③「転入者紹介を再開したらどうか」（信徒集会意見）→「今週のお知らせ」に転入者の記事が載ったら、その都度、ミサ後のお知らせで転入者を紹介するようにします。

④「他教会の教会報を紹介したらどうか」（信徒集会意見）→事務所入り口横のキャビネットに他教会の教会報がファイルされています。興味深い記事があれば『二十六聖人』に掲載して皆さんに紹介したいと思います。

2. イースターエッグ及び復活祭パーティーを再開します。

3. 3/24 大掃除

いつもボランティアが綺麗に清掃してくださっていますが、復活祭に向けて皆で掃除するのはとても有意義なので、3/24 枝の主日のミサ後に大掃除を行います。

4. バザーに関するアンケート

今後のバザーを考えるための基礎資料としてバザーに関するアンケートを行います。率直なご意見をお聞かせください。

5. 第三地区宣教司牧委員会の三部門についての検討：三部門とは梅村司教様が掲げられた方

針の一つで、共同体の三つの力、つまり「祈る力」「信仰を伝える力」「神の愛を証する力」の育成を目的にしています。教会委員に次の問いに対して意見を出して頂くようお願いしています。皆さまもぜひ一緒に考えてください。

・三つの力を育てるために私達は何をしてきたか、これから何が出来るか。また、第三地区として何が出来るか。

6. 教会財務状況の毎月報告

教会財務は信徒の献金によって支えられているので、毎月の報告は財務関係者の義務だと姜神父様は考えられています。やり方は神父様と財務委員長が検討中です。

7. 2024年教会委員会基本方針の具体化

2023年教会委員会基本方針を受けて、教会委員会では以下の検討を始めます。

①典礼や教会活動の奉仕への参加に必要なもの、また妨げとなるものは何か。

②たとえば外国籍、高齢者などが集みにくい環境、不便な設備があるか。

③近隣教会との交流を促し、協力して信徒の居場所を用意するために何が出来るか。

【報告事項】

ナン神学生他二名の助祭叙階式（於、山手教会）への二俣川からの参加人数を50名程度に抑えるよう鈴木真神父様から依頼がありました。復活祭から参加者募集、参加人数把握を始める予定です。

【その他の検討・確認事項】

1. 典礼委員会

助祭叙階式のため、4/21 10時ミサを9時からに変更し、また4/21 予定の「子どもとともに捧げるミサ」を4/7に変更します。

2. 教会学校

・2/23に教区リーダー研修会がありました。田丸神父様から紹介された書籍、DVDを購入する予定です。

・子どものための聖歌集を更新する予定です。編纂委員を公募しますので、ぜひ応募してください。窓口はM. Y. さん、O. Y. さん、Y. J. さんの三名です。

・2024年度教会学校テーマは「イエス様とちょっと仲良くなろう！～いのり・まなび・あかし～」です。

・「きょうかいがっこうだより」をPDFで配信することにしました。紙の印刷物もレターケース棚上に置きます。

・2024年度教会学校案内を3月中に発送します。始業は4/7です。

・助祭叙階式のため、4/21 予定の教会学校は4/28に変更します。

3. キリスト教講座

・3/16に黙想会を行います。指導司祭は韓神父様（茅ヶ崎教会主任司祭）です。

・3/30に入信の秘跡を行います。5名を予定しています。

・入門講座カリキュラムを見直し中です。また、教会HPにキリスト教講座の資料室を作成中です。

4. 広報委員会

『二十六聖人』4月号から表紙のリニューアルを行います。

5. 福祉委員会

・5月から横浜療育医療センターの方の来訪（月1回）を再開します。

・能登地震へのボランティアについてカリタス・ジャパンがベースを立ち上げました。二俣川教会にはボランティアへの補助制度があるので、参加される方はご利用ください。

6. 共同墓地委員会

・共同墓地埋葬申込1体がありました。埋葬は3/28の予定です。

・3/17に二俣川教会で四教会共同墓地会議が開催される予定です。

7. ヨゼフ会

3/24大掃除後に例会を開催します。

8. マリア会

・マリア会運営委員会第1回（2/4）、第2回

（3/4）を行いました。マリア会の活動内容について話合いました。

・パーティー係 3/8 イースターパーティーのメニューを決定しました。

・ボリビア支援グループ 2/18に「のんびり日曜日」を行いました。3/1会議で「ボリビアの風だより」の発行、生ジュースの販売（4月から）を話し合いました。

・ステラマリス帽子を編む会 2/22すでに100枚近くの帽子が編まれています。

・アンナ会 2/19手仕事をしながら楽しく交流しています。

9. 青年会

・2/18定例会後に復活祭に向けたステンドグラスの試作を行いました。青年会、中高生が週末に作業を行い、3/30に聖堂内陣窓へ取り付けの予定です。

・3/31復活祭ミサ・パーティーの後に新青年歓迎会を行います。今年高校を卒業する人と新信徒の青年3名に参加を呼び掛けます。

10. インターファミリー

9/29ミサ後にアルペなんみんセンター事務局長であるA. K. 氏の講演会を行います。テーマは「アルペなんみんセンターとは、当事者に寄り添って感じる事、私たちに出来る事」などです。

11. 一粒会

・梅村司教様の司教叙階25周年（5/15）に向けて、第三地区としてお祝メッセージ、二俣川教会として霊的花束を準備しています。

・2/25に一粒会献金の対応を行いました。

2月の新規会員は4名でした。

「信徒集会報告」

2月25日10時ミサ後に、聖堂で約1時間信徒集会を開催しました。参加者は約60名でした。姜神父様挨拶、新旧委員紹介、2023年活動報告、財務報告、2024年教会委員会基本方針説明、「名簿類管理規程」の説明のあと、参加者からいくつかの意見がありました。主な意見については3月教会委員会で検討しました。

以上

「あなたがたに平和があるように」ヨハネ 20, 19. 26

1. 「あなたがたに平和があるように。」これは、復活されたイエス様がご自分の弟子たちに現れたとき、彼らに言われた初めの挨拶の言葉です。イエス様はこの挨拶の言葉を二回にわたって言われました。一回目はトマスだけがいなかった時で、二回目は彼も一緒にいたときでした。それは、イエス様の死によって、みんなが一つとなっていなかったということでしょう。事実、弟子たちはイエス様が逮捕されてから、まるで、船長を失った船のようになってしまい、ほとんど、イエス様に出会う前の生活に戻ろうとしたそうです。ある意味、イエス様に従う生き方を選んだ彼らの選択は失敗となったでしょう。

2. **しかし、そんな彼らに、復活されたイエス様は再び現れました。**そして、「あなたがたに平和があるように」とおっしゃったのです。その平和とは、復活された方の平和ですが、それは単に、十字架の苦しみを終えた後の平和ではありません。それは、十字架を乗り越えた後の平和で、イエス様はその平和を弟子たちに授けられたわけです。その平和は、一切の苦しみや悩み、葛藤などの危機のない平和ではなく、それらを乗り越える時に与えられる平和なのです。

3. **ところが、その平和は一人一人のためのもではありませんでした。**イエス様はその平和を、「あなたがた」、すなわち、「弟子共同体」に授けられたわけです。その弟子共同体はどれほど弱い共同体だったでしょうか。イエス様の死によって、彼らは絶望と挫折に包まれ、互いに疑い合い、責め合い、憎

み合っていたに違いありません。でも、イエス様はその弱い共同体を再び選び、呼び集めてくださいました。そして、そのすべての分裂の試練をみんなで乗り越える時に味わえる平和を与えてくださったのです。それはまさに、「みんなが一つとなる時の平和」でしょう。

4. **イエス様は、その平和をご自分の「弟子共同体」に授けられました。**それは、弟子たちがいつも一つとなって、世の中的な風潮、教え、考え方、また、やり方と戦いながら、彼らがただイエス様ご自分に従い、ご自分を中心とした共同体となることを望まれたからです。イエス様は、彼らがそうならないと、いつでも「世の中的な集団」となってしまうことを心配されたのです。実際、新約聖書は、その「世の中的な集団」の特徴について語っています。その特徴とは、不満や不平、疑い、憎しみ、恨み、妬み、いじめ、諦め、傍観などでした。それは、一部の人たちによって、また、世の中的な価値観に沿って営まれた教会の姿だったのです。

5. **イエス様の平和は、今のわたしたちの教会にも委ねられています。**ですから、わたしたちはいつも、イエス様を中心とした共同体とならなければなりません。教会の固有な活動、すなわち「宣教、典礼、奉仕」は勿論、そのほかの生活や運営においても、イエス様の活動とすべきです。そのためには、まず、み言葉とご聖体の神秘を表すミサ聖祭を大事にする必要があります。そして、何をするにせよ、みんなですることが大事なことです。

そうすると、わたしたちはイエス様の平和を証する「真の平和のしるし」となれるでしょう。

お祈りください。日本二十六聖人、わたしたちの信仰と希望と愛がより強められるよう、お祈りください。

6. 最後に、平和の聖母マリアの助けと日本二十六聖人の取り次ぎをお願いいたします。
平和の聖母マリア、わたしたちを助け、また、カづけてください。わたしたちのために

2024年2月26日 四旬節第2主日
カトリック二俣川教会主任司祭
ヤコブ 姜 真求



3月17日、教会学校の修了式と卒業式が行われました！！

小学生クラスを卒業するF.くんからは、お礼の挨拶がありました。4月からも、子どもたち一人ひとりがそれぞれのクラスで学び、信仰を強めていけますようお祈りください。



★2024年度教会学校 4月・5月の予定★

- 4月7日 教会学校 始業 初聖体クラス
- 4月14日 侍者会 初聖体クラス
- 4月28日 教会学校 初聖体クラス
- 5月12日 侍者会 初聖体クラス (ゆるしの秘跡)
- 5月19日 教会学校 初聖体クラス
- 5月26日 初聖体クラス



〔イ〕 いよいよこの連載も、最終回となります。最後に、助祭叙階を前にしたお気持ちを聞いてみたいと思います。最近ごミサの中で、これまでとは違う準備や片付けの奉仕をされていますね。どんな感想がありますか？

〔ナ〕 そうですね。教会に帰って来たら、姜神父様のご配慮とご指導によって、祭壇奉仕者としてごミサの中でいろいろ準備や片付けの奉仕をさせて頂いて、嬉しく思っております。大勢の方々の前で緊張しながらやっていますけれども、やっぱり今までとの違うこと、特に、自分の手で直接にご聖体に触れるという奉仕は卑しいものである自分としては、ただ奉仕ということより神からのお恵みだなあと改めて実感しております。助祭叙階の恵みを頂く日まであと一カ月ぐらいですが、祭壇で奉仕する度に、その日がだんだん近づいてくることをはっきり感じております。そして、聖体拝領後の片付けの時、「主よ、口でいただいたものを清い心をもって受け入れることができますように、この賜物によって、永遠のいのちに導かれますように」との奉仕者が静かに唱える祈りがあります。神の偉大な恵みを頂くためにいつも「清い心を持って受け入れることができますように」と祈りながら、そして皆さんにもお祈り頂きたいと思っております。

〔イ〕 助祭叙階のためにお祈りをしている二俣川教会の皆さんにひとことお願いします。

〔ナ〕 いつもお祈りくださっているにもかかわらず、助祭叙階のお恵みを頂く前に特別な祈りを作成し、みんなでささげてくださいる二俣川教会の皆さんに「ひとこと」といえば、感謝しかありません。しかし、今まで様々な形で私を支えてくださって、特に名前までも入れて助祭叙階のためにお祈りくださっている二俣川教会の主任神父様をはじめ、信者の皆さんに感謝したいとしても、人間の言葉では言い尽くせません。感謝の心を込めて神様の祝福が皆さんと皆さんのご家族の上に豊かにありますようにと、自分の日々の祈りの中でささげながら、励んで行きたいと思っております。これからの道を最後まで歩むことができますように皆さんの祈りはもっと必要だと思えます。どうか、引き続きお祈りください。どうぞよろしくお願い致します。

横浜教区 助祭叙階式のご案内

日時：4月21日(日) 11:30～ (主日ミサの中で助祭叙階式が行われます)

場所：カトリック山手教会聖堂

受階者：ペトロ ホアン・ドゥック・ナン神学生、ルカ 枇杷晃平神学生
ヨセフ トラン・ヴァン・グエップ神学生

参列：二俣川教会からの参列者は50名ほどを予定しています。申し込みはありませんが、事前の人数把握にご協力ください。詳細は二俣川教会ロビーのポスターをご覧ください。

二俣川教会のミサ時間変更 4月21日(日) 7:00～、9:00～

※この日のみ、主日10時ミサの時間が9時に変更となります。山手教会でのミサに参加される方は、二俣川教会のミサに与る必要はありません。



復活節のお祈りを一緒に唱えましょう！

復活節の祈り

神は、イエスを復活させて、主とし、キリストとされた。
 わたしたちはキリストの福音をいまこそ心から信じて悔いはないのである。
 神よ、復活祭を喜びと感謝をもって迎えることのできた
 わたしたちの信仰を実らせてください。
 生涯、主キリストによってお示しになった福音を信じ通し、
 キリストの復活にあずかり、ついには、
 み国の栄光と喜びに至ることができるよう。
 主キリストによって。アーメン。

(カトリック祈禱書 祈りの友 (改訂新版) より)

ニ俣川教会 ニュース

- 今年の聖木曜日は、コロナ禍で中止されていた「洗足式」が行われました。この日の福音のしめくくりにはこう書かれています。「主であり、師であるわたしがあなたがたの足を洗ったのだから、あなたがたも互いに足を洗い合わなければならない。わたしがあなたがたにしたとおりに、あなたがたもするようにと、模範を示したのである。」(ヨハネ 13 : 14-15)
- 復活の聖なる徹夜祭のごミサの中で、入信の秘跡を受けられた新信徒の皆様、おめでとうございます！入信に向けてのお勉強の感想や、受洗されて感じられたことなどを、5月号の『二十六聖人』でご紹介します。
- バザーに関するアンケートを実施中です。今後のバザーを考えるための基礎資料とさせていただきます。是非、率直なご意見をお寄せください。締切は4月7日です。
- 「みんなであうたう聖歌集」(仮)の作成メンバーを募集いたします♪こどもの聖歌集(黄色のファイル)を、子どもだけでなく誰もが見やすく歌いやすい、ユニバーサルな歌集にする計画です。詳細は、教会ロビーのポスターを御覧ください。

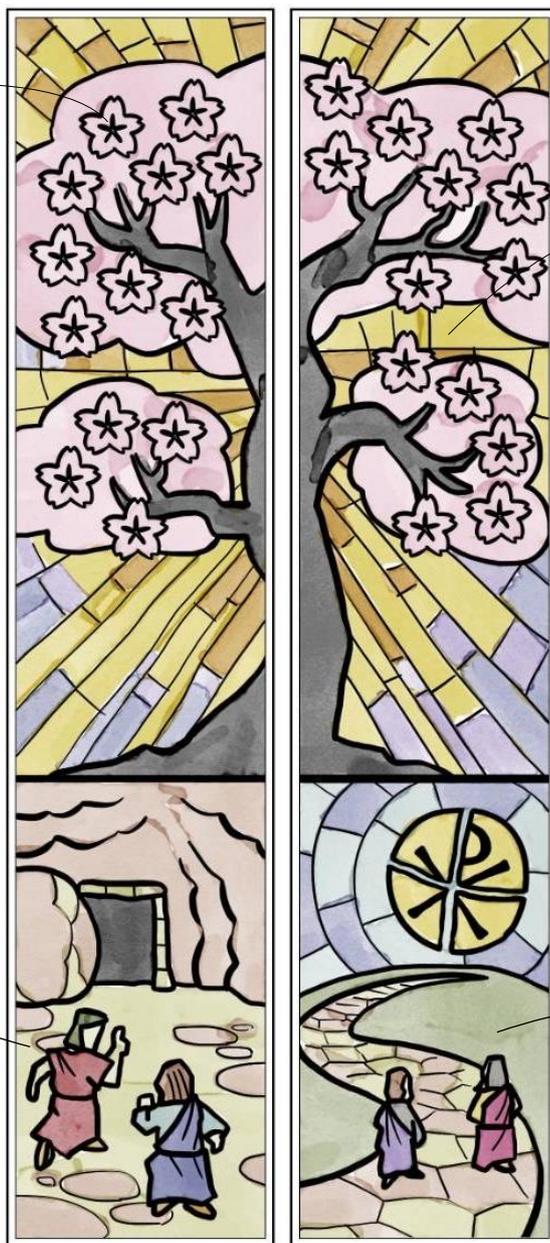
HAPPY EASTER!!!

青年会作成、和紙で作ったイースターステンドグラス(風)を紹介

覚えていらっしゃるでしょうか？青年会では、2021年のクリスマスに手作りのステンドグラスを作成しました。そして今年、四旬節を過ごしなが、日本古来の素材である和紙を使った新しいステンドグラス(風)を作成しました！原案を元に、作画はブラジルからの留学生であるJ君が担当。デザイン系の仕事に就いていたり、その経験のある青年たちが自身のタレントを活かして先導し、作成に取り組みました。また、作業のために集う中で、多くの青年がゆるしの秘蹟にも与ることもできました。今日の私たちに届けられている、主の受難と復活の真理を、ステンドグラスを通して分かち合うことができましたら幸いです。

26個の桜＝
私たち二俣川教会の守護
聖人、日本二十六聖人殉
教者。私たちも信仰の花
を咲かせる事ができます
ように。

開かれたキリストの墓と
駆けつけた弟子たち＝
「私たちにとって復活と
は？」冷たい墓の中に閉
じこもってはいません
か？喜びの知らせを聴
き、駆け出しています
か？



二俣川教会の祭壇に掲げ
られた復活のキリスト像
から放たれる光＝
「見よ、キリストの光。
神に感謝。」私たちひと
りひとりが光となって放
たれ、福音を証しするこ
とができますように。

エマオへの道＝
2人の弟子は道すがらイエ
ス様に出会います。そし
て、イエス様と一緒にパン
を分かち合いました。4つ
に裂かれたご聖体の1つは
イエス様、2つは2人の弟
子、残る1つは私たちへ。
主よ、今日も同じ食卓に与
り、派遣される私たちをか
づけ、励ましてください。

どうぞ祭壇の近くで祈り、御覧ください。やさしい光が聖堂を照らし、
二俣川教会に集う皆様の祈る心に寄り添うことができますように。
そして、復活の喜びと愛の光が教会から溢れ出すことを願っています！



主のご復活おめでとうございます。今年のご復活祭の為に、マリア会はイースターエッグとご復活祭パーティーを準備するように依頼されました。コロナを経て、また、心と姿勢の準備としての40日を終えて、主のご復活を心から喜び、お恵みを深く味わうパーティーを開催できるようになったことを、何よりも私たちマリア会は感謝しています。

女子パウロ会ホームページの「灰の水曜日」という箇所を読むと、私たちが過ごしてきた四旬節の意味がとてもわかりやすく書かれていて、この期間を大切にしてくられたことに、今、改めて感謝します。灰の水曜日から始まる40日間（日曜日は含まない）の四旬節後、私たちはご復活祭を迎えました。この40日という象徴的な日数は、主イエスが宣教生活に入られる前に砂漠で40日間断食されたことに倣うとされています。

ラテン語ではクワドラジェジマ (Quadragesima) と表現される四旬節は、1年の典礼の頂点と言われる復活祭を目指す準備期間であり、何を準備するのかということ洗礼及び回心と罪の償いとのこと。私たちキリスト者はキリストの断食と祈りに倣いたいという思いを強く持ち、灰の水曜日と聖金曜日の大斎・小斎を守りつつ、祈りと回心の日々を過ごしてきました。そうやって歩いてきて迎えるこの日の何とすばらしいことでしょうか。お恵みのうちに、これからも共同体の皆さまとご一緒に前に進んで参りましょう。 マリア会 F. N.

広報委員会からのお知らせとお願い

◆広報委員として一緒に奉仕しませんか？

『二十六聖人』の編集やホームページ管理等。少しのWord操作やメールでのやり取りが出来れば問題ありません。一緒に神様の愛を伝えましょう！

◆カメラマンとして、教会での大切な瞬間を記録しませんか？

教会の行事等で撮影して下さるカメラマンを探しています。

◆広報委員会へのご意見をぜひ、お寄せください！

『二十六聖人』やホームページについてのご意見等

ご応募やご意見は広報メールアドレス koho-new@futamatagawa-cc.com へ。または、教会ロビーの「ご意見ポスト」をご活用ください。どうぞ広報委員にお気軽にお声がけください。

「編集後記」

表紙リニューアルした4月号はいかがでしたでしょうか？最初の表紙絵はお聖堂に掲げられた復活のキリスト像です。このご像のイエス様の足は一步前に出されています。私たちが救うために踏み出されたその一步。「わたしは地上から上げられるとき、すべての人を自分のもとへ引き寄せよう」（ヨハネ12：32）のみことばそのものの様に感じます。

主の御復活おめでとうございます！

(A. K. 記)